

久斗山地区公民館だより



令和2年
7月号

22日発行

久斗山地区公民館

ご挨拶

今月はまだ梅雨の季節です。九州や日本各地で大雨による甚大な洪水被害が出ており、被災された皆様には心からお見舞い申し上げます。当地では幸いにも大きな被害もなく、ありがたいことです。今年はコロナウィルスの影響で花火や夏祭りも中止や縮小になり、さらに学校の夏休みさえ短縮されて、子供たちはがっかりしていることでしょう。可哀想ですが、セミも鳴き始めだし、カブトやクワガタムシも出てきています。もうじき梅雨も明けるでしょう。元気だそうね！

【ご協力ありがとうございました！資源ゴミ回収】

捨てればゴミですが、集めてリサイクルすれば資源です。7月18日(土)、子ども会と青推協により地区内の資源ごみ回収が行われました。梅雨が明けないので天気が心配されましたが、幸いにも雨は降りませんでした。朝7時前から、手分けして各家々を回り、出してある古新聞やダンボール、雑誌、アルミの空き缶などを回収しました。自ら持ち込みされる家もあり、回収した資源ゴミはふれあい会館の前にそれぞれ分けて集積しました。

8時過ぎに廃棄物処理業者の木下産業の4トントラックが来、みんなで積み込みました。最初は古新聞からで、下から持ち上げる人、トラックの荷台で受け取りきちんと積み上げる人など、手分けして作業をしました。30分ほどで積み込みも終わり、トラックの荷台がいっぱいになると、大きな幌をかけて帰っていきました。今年はぼろ布の回収はありませんでしたが、昨年より量は多そうでした。ご協力いただいた地区のみなさん、ありがとうございました。回収作業を頑張ってくれた子供や大人のみなさん、お疲れ様でした。



【夏も涼しい畑ヶ平高原の滝群。雨の日のハイキング開催】

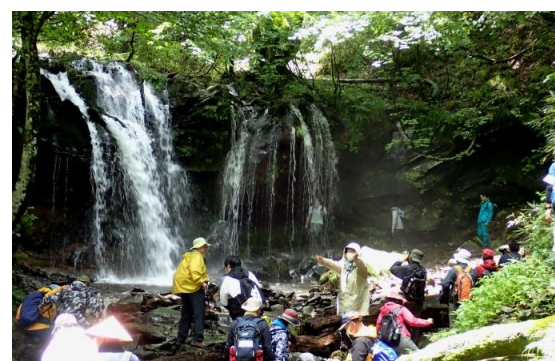
岸田川の源流部、畑ヶ平高原は扇ノ山の兵庫県側に広がるなだらかな地形です。今から120万年～40万年前の噴火で流れ出た溶岩や噴出物の堆積でできており、溶岩台地の端は水の浸食により深く切れこんだ渓谷となり、幾つもの滝がありあす。林道畑ヶ平線(今年の4月に県道に昇格)の沿道から、この滝群を間近に見ることができます。

7月12日、朝から生憎の雨模様でしたが「畑ヶ平林道滝ハイキング」(NPO法人上山高原エコミュージアム主催)が開催され、県内だけでなく大阪や鳥取、岡山などから50人近い参加者があり、人気の高さをうかがい知ることができました。参加者はバスと乗用車5台で途中まで行き、トチノキやサワグルミの巨木がある原生林を歩きながら順に出現するお面ヶ滝、鶴滝、苔滝、亀滝、祈りの滝、猿壺の滝と対面しました。連日の雨で水量の多い滝は迫力ががあり見応えがありました。車で行ける場所でもあり、機会があれば訪れてみてください。



林道を歩く参加者

猿壺の滝とその
滝壺で釣ったイワナ



【今年の大杉神社のヒメボタル】

蛍の季節は6月(?)確かにゲンジやヘイケボタルは5月の終りから6月中が一番多く発生しています。しかしヒメボタルは7月に見られる蛍です。しかも、ヒメボタルは森の中に棲んでいて、5〜8ミリと小さな蛍ですが、とても強く、短い間隔で発光します。久斗山の大杉神社にも生息しており、昨年の観察会(7月13日)では、雨でしたが多く見れました。今年はどうだったでしょう?

6月28日に落葉の上で2匹だけ発光していました。今年、最初の発見です。次に7月6日に行った時は十数匹が光っており、飛びかいて、これから増えてくることが期待されました。しかし、その後は夜になると雨が降り、観察に行けませんでした。次に7月13・14日と観察に行きましたが、数匹しかいませんでした。今年は少なかったみたいです。



写真上、6月28日。下、7月13日のヒメボタルの光跡(撮影:岡畑大介)

【今年の稲の出来は? あぜ道講習会開催】

毎年2回開始される営農センター(JAみかた)のあぜ道講習会は、今年はコロナの影響で7月8日、1回だけです。



当日は、梅雨に中休みで青空のいい天気になりました。これから夏に向けて穂が出て花を咲かせ、秋の実りを左右する大事な時期です。穂肥や水管理、カメムシ防除について指導がありました。

【咬まれるとヤバイ! 毒蛇、マムシにご用心!】

梅雨の時期は田畑の雑草が急成長し、草薮がうっそうとします。そんな草薮に不容易に入るのは十分に注意してください。マムシが潜んでいるかもしれません。変温動物の爬虫類は気温が高いと活動的になります。卵胎生のマムシは、今が出産の時期で10数cmの子供が見つかりますが、小さくても毒蛇! 咬まれるとヤバイです。



○令和2年 8月の行事

- 2日(日) 河川愛護(6:30〜) 地区
- 14日(日) お盆 (13:30〜 祭壇の準備。なお今年は盆踊りは中止です)
- 15日(土) 久斗山自然教室「川の生き物観察と川遊び」(9:00〜11:30) 公民館行事
- 23日(日) 道路愛護(6:30〜) 地区
- 23日(日) 人権学習会(19:30〜20:40) 久斗山ふれあいセンター



加藤文太郎記念図書館 図書館 夏期特別行事のご案内 「一日図書館員体験」

- とき: 令和2年8月8日(土)9:30〜15:30
- 対象: 町内在住の小学4〜6年生
- 人員: 2名
- ※本の貸し出し・返却・おはなし会・図書整理
- 「としょかん子ども映画会」
- とき: 令和2年8月22日(土)15:30〜
- 場所: 図書館2階視聴覚室
- ※「恐竜超世界 第1集」の観賞
- 「プログラミング体験教室」
- とき: 令和2年8月23日(日)13:30〜16:00
- 対象: 町内在住の小学3〜6年生
- 人員: 10名
- ※家でつづきをしたい場合USBメモリーを持参
- 【申込・問合せ先】加藤文太郎記念図書館
- TEL: 0796-82-5251



露のついたツククサの花

今月の野草 ツククサ

朝露の草むらに、青い二枚の花びらが目立ちます。朝に咲いた花は、昼には萎んでしまふ儚さがあります。でも、畑に生えてきたツククサは、土にしっかりと根を張り、茎が地表を這って伸び、けっこうしかけて見られ、花の色は青だけなく、白花もあるらしいけど、久斗山では見たことが無い。

かってに昔話

桃太郎岩の鬼 (第一話)

作、いっこう

大味の村の奥の田んぼのそばに「桃太郎岩」と呼ばれる岩があります。丸い大岩が真つ二つにぱっかゝんと割れており、昔話の桃太郎が入っていた桃のようなので、こんな名前がつけられたのでしようか? はたして、この大岩が割れた時、出てきたのは本当に桃太郎だったのでしょうか? 今回は、この桃太郎岩にまつわるお話です。

昔、蓮台山には鬼が住んでいて、夜になると麓の餘部や久谷の村に出てきて小牛や鶏をさらった。り、大声を出して騒ぐので村人は困っていました。ちょうど、その頃、慈覚大師という偉いお坊さんが湯村に来ていて、鬼を懲らしめる方法を教えてもらいました。村人は山に帰る鬼の後をつき、岩穴の住家をつきとめました。そして鬼が寝ている屋間に、岩穴がある山の上に櫓を組むと大釜を据えて下で火を焚き、ぐらぐらと熱湯を沸かしたのでした。

夕暮れ、岩穴の出口から姿を表した鬼の上に、一気に大釜をひっくり返ししました。

「ぎゃー!」

鬼といえど、寝起きで岩穴から出たところに熱湯をあびせられたからたまりません。びっくりして、山から転がって、大味の沢の方に転げ落ちました。熱湯で鬼の皮膚は融け、ごろごろと山や沢を転げる時に土や小石、砂がまぶれ着き、やがて丸い大岩となりました。大味の村の手前まで転げました。田んぼの窪地でようやく止まった大岩からは、しゅーしゅーと湯気が立ち上っていました。(つづく)